

研究所だより 2月号

くろしお

発行:黒潮町教育研究所

幡多郡黒潮町佐賀1092番地1(黒潮町教育委員会内)

TEL 0880-55-3190 Fax 0880-55-3850

Email: kuroshio-l@kochinet.ed.jp

URL: <http://www.kochinet.ed.jp/kuroshio-l/>

教科ミドルリーダー育成事業で学んだこと

～英語科における授業改善～

黒潮町立佐賀中学校 下村 忠久

教科ミドルリーダー育成事業の外国語部会では「仲間との関わりあいを通して表現活動の充実を図る」というテーマで研究を進めました。研究授業、先進校視察、授業参観、研究討議等から学んだことを紹介したいと思います。

『「話す」「聞く」「書く」が1サイクルの統合的言語活動 “I’m a reporter.”』

この活動は、まず、与えられたテーマをもとにペアで英会話をを行い、次に、そのうちのいずれかが、会話から知り得た情報を、レポーターとして全体に伝えます。聞き手は発表が終われば、その内容を思い出しながらノートに英文で書いていく活動です。テーマを変えれば既習構文の復習にもなり、仲間との関わりを通して3技能を伸ばすことができます。この活動中は、発話者、聞き手、双方に集中力も必要とされ、自然に集中して取り組もうとする雰囲気生まれるものでした。

『単元計画などでゴールイメージを持つ』

ゴールイメージを持って指導することの大切さを学びました。単元計画のみならず、各学年、ひいては3年間のゴールイメージを持つことが生徒の表現力育成につながります。日々1時間1時間の指導を目的意識を持って指導していく必要性を感じます。

『ALTとの連携』

ALTとの連携を図ることで「スピーチ」や「自己表現ノート」など、「書く」「話す」ことへの意欲づけにつながっていききました。やはり、生徒に英語はコミュニケーションの道具であるという実感を持たすことができるような場面設定をできる限り作っていきたいと考えています。

『ICTの活用』

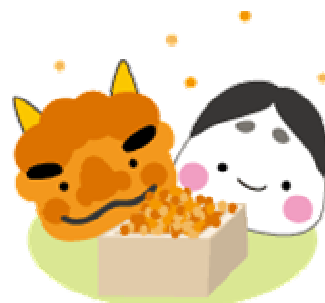
生徒への興味づけを図るために情報機器での授業を行いました。電子黒板を使うことの利点は2点あります。1点目は、視覚に訴えることにより生徒の興味関心を引き出し、理解を促すことができます。また、2点目として、1度スライドや写真を作成しておけば、復習の場面でもすぐにそれらを再提示でき、時間的無駄がありません。その結果、他の活動に費やせる時間が増えていきます。今後もICTを積極的に活用していきたいと思います。

『学校全体で』

言語活動の充実に向けて学校全体で取り組むことの大切さを実感しました。自分の思いを語りたくなるような学級づくりや仲間づくりがないとペアやグループ活動はスムーズに進行していかないので、仲間づくりと両輪で指導していく必要があります。生徒が自己表現できる環境づくりを仕組んでいきたいと思っています。



中学校英語科についてのまとめですが、他の教科や小学校にも通じる内容だと感じました。大切にしなければならないことは、同じということなのかも知れません。
下村先生、ありがとうございました。



平成23年度海外研修報告会

「モンゴルで思ったこと」～平成23年度JICA四国教師海外研修～

平成24年1月13日(金)

入野小学校 1F 会議室

発表者: 黒潮町立入野小学校 6年担任 二岡裕幸先生



馬頭琴です。報告会の後、弾いている先生もいましたよ。



発表資料より(人口に比べて家畜の多さにびっくり)

モンゴルという国の地理・歴史・文化・最近の社会情勢・学校やゲルでの生活の様子などについて、スライドショーやムービーを駆使した発表で、40分間があつという間に過ぎてしまいました。

- ・主な家畜は5種類(羊・馬・牛・山羊・駱駝)
- ・魚の固有名詞がない、魚はすべて「さかな」という。また稲科の植物はすべて「こめ」という。おおざっぱ。
- ・水を大切にす。1人1日の水の使用量...モンゴル(1L)、日本(300～400L)
- ・児童労働者...30%
- ・都市には車があふれ、近代的なビルが立ち並んでいる。側溝はなく、雨が降ると通りは川になる。
- etc...

珍しいお話、驚くようなお話が満載でした。なお、この報告会についてはDVDがありますので、ご覧になりたい方は、研究所までご連絡下さい。

参加者アンケートより (一部紹介)

- ・プレゼンを通してモンゴルの美しい風景に間接的にも触れることができ、心なごむおもいがしました。モンゴルの生活、労働、教育について、その一部分でも知ることができ、参加してよかったと思います。二岡先生のプレゼン構成が素晴らしいのに驚きました。とても勉強になりました。
- ・海外に出て、日本の良い点を改めて感じることに、また、日本人が忘れていたこと、考えなくてはいけない点について、研修の報告を聞いて再確認できる。今後の日本での教育を行っていく上で役立てることができる点で今後も機会があれば報告会に参加したい。
- ・今日はありがとうございました。黒潮町の4年生がモンゴルについての学習をしています、ぜひ子どもたちにも聞かせてあげたいとおもいました。そういう機会をもつことは難しいですかね？

二岡先生は、子ども用にも発表資料を作っているそうです。筒井校長先生とご本人に直接交渉してみてください。

